

りゅーとぴあ専属舞踊団 Noism (ノイズム) ルーマニア 2 都市で初公演

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、主催公演事業の一環として、新潟に拠点を置き海外でも積極的な公演活動を行っているダンスカンパニー「Noism（ノイズム）」をルーマニアへ派遣し、首都ブカレストとシビウの2都市で、同カンパニーオリジナル作品の新作を海外で初めて上演します。



Noism 劇的舞踊『ラ・バヤデーラー 幻の国』（撮影：篠山紀信）

Noism は、日本初の劇場専属舞踊団として、新潟市の新潟市民芸術文化会館に2004年に設立されたダンスカンパニーです。これまでに8カ国で海外公演を実施していますが、このたび初めてルーマニアでの公演を行う運びとなりました。首都ブカレストと共に上演都市となっているシビウは、平成27年度の「国際交流基金賞」受賞団体である「シビウ国際演劇祭」（トランシルヴァニア地方で開催される欧州最大級の演劇祭）で知られる古都であり、日本から様々な劇団、ダンスカンパニーを招へいた実績があります。

今回のルーマニア公演により現地での現代日本の舞台芸術への理解と共感を獲得するとともに、両国の舞台関係者間の交流促進を目指します。

【事業概要】

公演日：ブカレスト 3月30日（木）

シビウ 4月5日（水）、4月6日（木）

会場：ブカレスト国立劇場（ブカレスト）、ラドゥ・スタンカ国立劇場（シビウ）

主催：国際交流基金

共催：在ルーマニア日本国大使館、シビウ国際演劇祭、Art Production Foundation

特別協賛：JT International Romania

●主催者・本事業に関するお問い合わせ：国際交流基金 文化事業部 事業第2チーム（担当：武田、豊田）

Tel: 03-5369-6063 / E-mail: arts2@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ：国際交流基金 コミュニケーションセンター（担当：二村、諏佐）

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

<Noism について>

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館が舞踊部門芸術監督に金森穰氏を迎え、日本初の劇場専属舞踊団として 2004 年 4 月に設立された。正式メンバーで構成される Noism1 と研修生が所属する Noism2 の 2 つのカンパニーからなり、新潟を拠点に国内をはじめ海外 8 か国 11 都市でも公演活動を行っている。国内唯一の公共劇場専属舞踊団として、日本の劇場文化発展の一翼を担うべく、クリエイティブな活動を続けている。第 8 回朝日舞台芸術賞・舞踊賞受賞。

<Noism ウェブサイト : www.noism.jp/>

<上演作品について>

① 劇的舞踊『ラ・バヤデールー幻の国』(ブカレスト)

ブカレストでは『ラ・バヤデールー幻の国』が上演されます。オペラやバレエで知られる物語を、舞踊家の確かな身体と重層的な構造でみせる Noism オリジナルの「劇的舞踊シリーズ」第 3 弾として、2016 年 6 月に初演。劇作家の平田オリザが古典バレエの名作『ラ・バヤデール』を大胆に翻案し、Noism のために脚本を書きおろしました。衣裳や舞台美術等には各分野で活躍する同時代のクリエイターを迎えて創作。メインカンパニー Noism1、研修生カンパニー Noism2 の総勢 20 名の舞踊家に加え、SPAC（静岡県舞台芸術センター）の俳優もゲスト出演。歴史や宗教、民族など現代社会の抱える問題に向き合う作品へと昇華させてとして大きな反響を得ました。

② 『マッチ売りの話』 + 『passacaglia』(シビウ)

シビウでは、2017 年に新潟と埼玉で上演されたばかりの Noism の新作、『マッチ売りの話』と『passacaglia』の 2 作品が上演されます。前半の『マッチ売りの話』は、アンデルセン童話「マッチ売りの少女」と日本の不条理劇の第一人者、別役実氏による「マッチ売りの少女」の両作品から創作されたオリジナルです。2 つの異なる時代の話を重ねることで過去と現在、内と外、親と子供、そして加害者と被害者が流転するような物語が展開します。後半の『passacaglia』はハインリヒ・ビーバー（17 世紀オーストリアの作曲家）の宗教音楽《ロザリオのソナタ》の最終曲と、その楽曲をコンピューター解析により独自の音響世界を生み出した現代音楽の福島諭氏の楽曲を組み合わせて創作されています。



Noism1 『マッチ売りの話』 + 『passacaglia』(撮影：篠山紀信)

- **主催者・本事業に関するお問い合わせ** : 国際交流基金 文化事業部 事業第 2 チーム (担当 : 武田、豊田)
Tel: 03-5369-6063 / E-mail: arts2@jpf.go.jp
- **取材に関するお問い合わせ** : 国際交流基金 コミュニケーションセンター (担当 : 二村、諏佐)
Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp